ParaEQ MKII Deluxe

取り扱い説明書

（株）アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

＊ この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。

無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

Introduction

2009 年に発売されたオリジナルの ParaEq は、それまでの EQ ペダルのシンプルすぎるコントロールに満足していなかったミュージシャンの間ですぐに話題となりポピュラーな存在になりました。そして今、ユーザーからの貴重なフィードバックを反映させ、オリジナル ParaEq の素晴らしさをすべて受け継ぎ、さらに素晴らしい MKII バージョンを完成させたのです。

Empress Effects の ParaEQ MKII は、あらゆる楽器のトーンを素晴らしく彩るするためのツールとして設計されています。ParaEq MKII は、ミュージシャンにパワフルで音楽的、高品質なイコライジングを、コンパクトな筐体で提供するように設計されました。信号経路はトランスペアレントで、パワフルなトーンシェイピング能力、低い動作ノイズを達成するために厳選された最高品質のコンポーネントで構成されています。

ヘッドルームはスタジオ仕様のラックマウント機器と同等の 27V まで高められ、どんなにホットな信号でもクリアなサウンドを確保できます。さらにペダルのサイズは従来の半分になりました！

Empress ParaEq MKII があれば、あなたの楽器を、よりあなたの楽器らしく、より良いサウンドで鳴らすことができるようになります。

- Jason Fee

Sample Applications

General Sweetening:

ギターの基本的な音色はとても気に入っているけれど、もう少しハイエンドのディテールが明るい方が良いと思う時があります。ParaEq MKII では、ワイド Q で 3 kHz から 5 kHz のレンジにわずかなブーストを加えることで、楽器本来のサウンドを保ちながらもわずかなディテールを追加することができます。同様に、低域にワイド Q のブーストを加えると、楽器のサウンドに温かみを与えることができます。

Tone Correction:

例えば、会場にアンプを設置したところ、ステージの音響効果で少しブーミーなサウンドになってしまう事がよくあります。ローミッド（200Hz-600Hz）の周波数をミディアムワイド Q でカットすれば、ルームアコースティックがサウンドに与える悪影響を最小限に抑えることができます。
ギターの音量が他のバンドに負けてしまう場合は、アンプのボリュームを上げるのではなく、中域の上側（1kHz-4kHz）をブーストしてみましょう。

Feedback Zapping:

DI されたアコースティック楽器では、ステージ音量になるとモニターからのフィードバックに悩まされることがあります。これは素晴らしいパフォーマンスをすぐに台無しにしてしまいます。ParaEq MKII の中高域バンドと狭い幅の Q 設定を使用することで、楽器本来の音色の特徴を完全に保ちつつ、ハウリングの原因となる周波数を的確にカットすることが可能です。ナロー・ワイド Q セッティングは、低減される周波数レンジを非常に小さくし、楽器のサウンドが鈍ったり濁ったりするのを防ぐことができます。

Distortion Enhancement:

ParaEq MKII をアンプの前にセッティングすることで、ディストーションサウンドをより過激にシェイプさせることができます。例えば、シグナルの高音域をもう少し歪ませたい場合、アンプに到達する前に高音域をブーストすると良い結果になります。これにより、ボトムエンドを濁すことなく、サウンドに斬新さを追加することができます。ParaEq MKII のブースト・コントロールは、すでに調整済みのチューブ・アンプを、より音楽的なオーバードライブに押し上げる最高の方法です。

Q Controls

Q はイコライジングの帯域幅をコントロールするパラメータです。

Narrow Q（∧）：

Narrow Q 設定はノブを時計回り方向に回した状態です。サウンドの様々な問題を解決するために最適です。例えば、アコースティック楽器がフィードバックしている場合、タイトな Q 設定にすると、周囲の周波数に影響を与えることなく、問題となる周波数をカットすることができます。

Medium Q (∧):

Medium Q 設定はノブが真ん中の状態で、一般的なトーンシェイピングに最適です。楽器用アンプに搭載されているイコライザーの多くはミディアム Q です。アンプのサウンドがやや濁っている場合は 300Hz～400Hz の周波数をカットし、ギターのサウンドがややダークな場合は 1kHz～5kHz をブーストしてみると良いでしょう。

Wide Q (◠):

Wide Q 設定はノブを反時計回り方向に回した状態です。信号に対して本当にトランスペアレントな変化を与えたい場合に最適です。例えば、100 Hz 付近でブーストすると温かみが加わり、3 kHz 付近で少しブーストすると、オリジナルのトーンを維持したまま、ディテールと鮮明さが加わります。

HP and LP Filters

ハイパスフィルターとローパスフィルターは、音のスペクトルから特定の周波数帯域を除去するために使用されます。これらの帯域は、フィルターの形状と設定されたカットオフ周波数によって決定されます。

ハイパスフィルター（ ）：

ハイパスフィルターはノブで設定したカットオフ周波数（10Hz～330Hz）以下の周波数を 12dB/オクターブで減衰させます。

ローパス・フィルター（ ）：

ローパスフィルターは、1.5kHz から 22kHz の範囲で、ノブで設定したカットオフ周波数以上の周波数を12dB/オクターブで減衰させます。

Shelving Filters

シェルビング・フィルター（トーンコントロール）は、サウンド・スペクトルの特定の周波数帯域をブーストまたはアッテネートするために使用されます。
フィルターの形状と適用されるゲイン/アテネーション量によって、フィルターの周波数特性が決定されます。ParaEQ MKII Deluxe のシェルビングフィルターは、非常に穏やかで音楽的なサウンドのバクサンダルフィルターです。

ローシェルフ・フィルター（ ）：

ノブの位置によって、200Hz 以下の周波数を-15dB～+15dB ブーストまたはアッテネートします。非常に緩やかなスロープです。

ハイシェルフ・フィルター（ ）：

ノブの位置によって、1kHz 以上の周波数を-15dB～+15dB ブーストまたはアッテネートする、非常に緩やかなスロープです。

Controls at a Glance

low freq, mid freq, high freq:

各バンドでブーストまたはカットする中心周波数を選択します

gain:

周波数帯域のブースト／カットの量を決定します。12:00 の設定では、ブースト／カットは行われません。
各周波数帯域のブースト／カットの範囲は、-15dB～+15dB です。

boost:

出力レベルをコントロールします。このブーストはクリーンブーストで、エフェクトチェーンの前にゲインを供給してノイズを最小化したり、チューブアンプのインプットをオーバードライブさせたりするのに最も適しています。
ブーストレンジは 0dB から+30dB で、boost フットスイッチでオン/オフが切り替えられます。

boost stompswitch:

ブースト機能の ON/OFF を切り替えるフットスイッチです。LED が点灯している場合、ブーストが有効です。

low q, mid q, high q:

各バンドでイコライザーの影響を受ける周波数帯域を、q ノブで細かく決定できます。

Wide q（ ）は、選択した周波数を中心に広いレンジに影響します(1.5 オクターブ)。

Midium q（ ）は、選択した周波数を中心に、いくつかの周波数に影響を与えます(2/3 オクターブ)

Narrow q（ ）は、選択された周波数を中心とした非常に狭い範囲にのみ影響を与えます（1/3 オクターブ）

ParaEQ MKII では、3 つの周波数帯域のそれぞれに q コントロールが用意されています。

bypass stompswitch:

LED が点灯している場合、ParaEq MKII エフェクトがシグナルに適用されています。オフの場合は、エフェクトがバイパスされています（トゥルーバイパスとバッファードバイパスが利用可能。アドバンスト・コンフィギュレーションを参照）

Filter/Tone Control:

( )ハイパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。

( ) ローシェルフフィルターのゲイン／アテネーションを設定します。

( ) ハイシェルフフィルターのゲイン／アテネーションを設定します。

( ) ローパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。

Frequency Region Descriptions

ParaEq MKII を使用する際に役立つさまざまな周波数の概要を説明します。

Electric Guitar

80Hz～150Hz:　ブーストすると、音に絶妙な温かみと大きさを加えることができます。カットすると、気になるモゴモゴ感を抑えることができます。

150Hz～400Hz:　この領域はカットすると泥臭さが消え、ブーストすると温かみが出ます。

400Hz - 800Hz:　この帯域をカットすると、よりピュアなサウンドになります。ブーストすると、サウンドにアグレッシブなエッジが加わります。

800Hz～2kHz:　この帯域でブーストすると、サウンドに凛とした響きが生まれます。カットすると、丸みを帯びた攻撃さを抑えたサウンドになります。

3kHz 以上：　この帯域をブーストすると、明るさやツヤが強調されます。また、この帯域をカットすることで、ノイズを抑え、刺々しさを抑えることことができます。

Bass Guitar

30Hz～80Hz:　サブソニック（超低域）です。この帯域をブーストしすぎると、スピーカーに悪影響がある場合もあるため注意してください。

80Hz～150Hz:　低音域です。ブーストやカットで低音の量感を変化させます。

150Hz～500Hz:　低音が濁りすぎている場合はこの帯域をカットしてください。少し温かみが欲しい場合は、この帯域をブーストしてみましょう。

500Hz～900Hz:　この帯域をブーストすると、ミッドレンジをより唸らせることができます。この帯域をカットすると、クリーンでピュアなサウンドになります。

900Hz - 3kHz: この帯域をブーストすると、アタックが強調されます。この帯域をカットすると、丸みのある音色になります。

3kHz 以上。カットすると、信号にはあまり影響を与えずにノイズを抑えることができます。
ブーストすると、エアー感や空間が広がります。

DI’d Acoustic Guitar

35Hz～100Hz:　この帯域をカットすることで、モゴモゴした帯域を軽減することができます。

100Hz～200Hz:　この帯域は主にアコースティックギターのブーミーなサウンド帯域です。この帯域をカットまたはブーストすると、ローエンドのプロジェクションを向上させることができます。

400Hz～500Hz:　この帯域をブーストすると、サウンドに温かみを加えることができます。この帯域をカットすると、サウンドの泥臭さを取り除くことができます。

500Hz～4kHz: アコースティック楽器らしい要素が多く含まれる帯域です。ブーストするとアグレッシブなサウンドになり、カッティングするとメロウなサウンドになります。

4kHz～8kHz:アコースティックサウンドのブライトネスを担う帯域です。楽器の音が壁越しに聞こえるような場合は、この帯域をブーストすると良いでしょう。

5kHz 以上:　この帯域をカットすると、サウンドの刺々しさが取り除かれます。この帯域をブーストするとサウンドに空気感が生まれ、カットするとノイズが減ります。ただし、ハウリングに注意してください。

Advanced Configuration

アドバンスド・コンフィギュレーションでは、ParaEq MKII のバイパスとブーストの設定をコントロールできます。

アドバンスド・コンフィギュレーションに入る方法：

ParaEq MKII から電源アダプターを抜きます。次にブーストとバイパスのストンプスイッチを両方とも押しながら、電源アダプターを再度接続してください。LED が一瞬点滅し、アドバンスド・コンフィギュレーション・モードに入ったことを視覚的に確認できます。

アドバンスド・コンフィギュレーションの変更方法：

トゥルーバイパスとバッファードバイパスを切り替えるには、アドバンス・コンフィギュレーション・モードで、bypass フットスイッチを押します。バイパス LED の状態でどちらのモードかが判断できます。

- **バイパス LED 消灯の状態=トゥルー・バイパス(デフォルト)**
- **バイパス LED 点灯の状態 = バッファード・バイパス**

通常バイパス・モードと独立バイパス・モードを切り替えるには、boost フットスイッチを使用します。
独立モードでは、イコライザーをかけずにブーストを適応することができます。
これにより、EQ とブーストをそれぞれ独立したバイパス・スイッチで使用できます。

- **ブースト LED 消灯＝ノーマルモード（デフォルト）**
- **ブースト LED 点灯＝独立モード**

アドバンスド・コンフィギュレーションの終了方法：

タップとバイパスのストンプ･スイッチを両方とも再度押し続けます。バイパス LED が一瞬点滅し、ParaEq MKII がアドバンスド・コンフィギュレーションを終了したことを視覚的に確認できます。

Quick Start

Sitting in the Mix

ミックスの中でベースやドラムのためのスペースを確保するためのローカット。

ギターのスイートスポットでミッドブースト。

さらに耳障りな高音域をカットしたセッティング例です。

Distortion Tamer

ハイゲインの歪みを抑えるために、ローをわずかにカットし、ミッドとハイをブーストします。周波数特性をシャープにし、フラットなサウンドを実現したセッティング例です。

Country Hum bucker Twang

高中音域をブーストし、ハイシェルフ・フィルターをプッシュして、Twang なサウンドを得ることができます。低域と高域を少しカットして、ミックスの中でより良いポジションになるように調整します。

Airy Acoustic

周波数特性を均一に整えます。高域と低域をカットし、中域をわずかにブーストします。ナチュラルなサウンドはそのままに、よりライトな印象になるセッティング例です。

Buttery Bass

ローエンドを維持しつつ、高い共振周波数を引き出し、十分な中音域を維持することのできるセッティング例です。

Doom Bass

ローを重くブーストしてサブベースを作り、ミッドをブーストしてハイミッドレスポンスを強調することで、タイトな低域とファジーなサスティーンを実現できます。

Gnarly Bass Synth

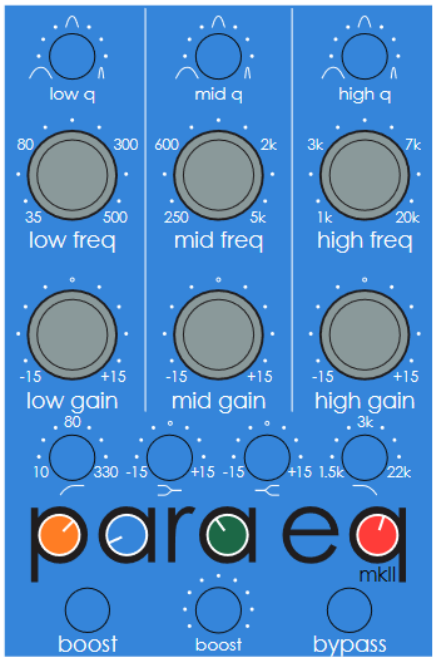
クランクしたレゾナントフィルターから出る突き刺すような周波数を調整し、シャープなサウンドを抑えます。ベースブーストは低域を太くする効果があります。

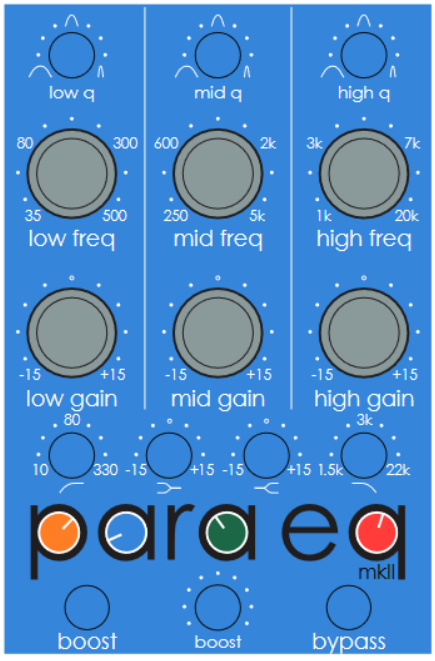
Underwater Black and White

狭い帯域の周波数をブーストするによる極端なフィルタリングで、古いプロジェクターの光で明滅する水中の楽器のようなサウンドだって再現できます！

My Setting

low q
mid q
high q
80
300
35
500
low freq
600
2k
250
5k
mid freq
3k
7k
1k
20k
high freq
-15
+15
low gain
mid gain
high gain
10
330
1.5k
22k
para eq
mkII
boost
boost
bypass


low q
mid q
high q
80
300
35
500
low freq
600
2k
250
5k
mid freq
3k
7k
1k
20k
high freq
-15
+15
low gain
mid gain
high gain
10
330
1.5k
22k
para eq
mkII
boost
boost
bypass


low q
mid q
high q
80
300
35
500
low freq
600
2k
250
5k
mid freq
3k
7k
1k
20k
high freq
-15
+15
low gain
mid gain
high gain
10
330
1.5k
22k
para eq
mkII
boost
boost
bypass

low q
mid q
high q
80
300
35
500
low freq
600
2k
250
5k
mid freq
3k
7k
1k
20k
high freq
-15
+15
low gain
mid gain
high gain
10
330
1.5k
22k
para eq
mkII
boost
boost
bypass

Powering

ParaEq MKII の電源供給

互換性のある電源の全リストは、www.empresseffects.com/power にアクセスしてください。
注意：Empress ParaEq MKII を正しく動作させるためには、300mA の電流が必要です。DC9V（TIP=マイナス）、300mA 以上の電流を供給する電源環境でご使用ください。AC アダプターは別売です。

* *消費電流は 300mA ですが、電源 ON 時には大きな電流が流れます。過電流保護機能があるパワーサプライの場合は正常に起動しない可能性がございます。500mA 以上の余裕のある電源でご使用いただく事をお薦めいたします。

Specifications

ParaEQ MKII Specification	
入力インピーダンス	1MΩ
出力インピーダンス	100Ω
周波数レスポンス(-3dB)	22Hz - 25kHz
THD	< 0.05%
ノイズ	> 107dB
ヘッドルーム	30dB @-10dBu reference
電源	9VDC（センターマイナス） , 2.1mm
消費電流	300mA（*）
サイズ (突起物含む)	約 H63mm × D127mm × W63mm
Weight	約 450g